

# 石狩川滝川地区水害タイムライン検討会（第3回）

タイムライン策定に向けて「石狩川滝川地区水害タイムライン検討会（第3回）」を開催しました。検討会では、参加機関によるワークショップを実施し、第2回検討会で抽出した行動項目と細目について、内容の確認・不足細目の追加、各細目の実施時期および所要時間の設定を行いました。

- 開催日時 平成28年2月18日（木） 13:30 ~ 17:00
- 実施場所 たきかわ文化センター（滝川市）
- 参加機関 滝川市等36機関

## 開会の様子

検討会には各関係機関の防災担当者に加えて、アドバイザー、オブザーバー、一般傍聴者など総勢約100名が参加しました。札幌開発建設部の石川事業調整官より開会の挨拶があり、検討会がスタートしました。



開会挨拶  
札幌開発建設部 石川 事業調整官



松尾 座長の挨拶

## 参加機関によるワークショップ

参加機関・オブザーバーの役割に基づき「市民安全行動」、「市民安全支援」、「地域安全対策」、「防災情報・意思決定」、「交通運輸対策」、「防災基盤対策」、「地域沿川」の7つのグループに分かれ、グループ毎に議論を行いました。



ファシリテータによる説明

各グループでは、第2回検討会で抽出した「行動項目・細目」の内容を確認し、滝川市役所が浸水した際の機能移転や、休日の職員参集の遅れをどうするか、といった不足している行動細目の追加と、各行動細目の実施時期および所要時間の設定を行いました。最後にそれらの成果を各グループのリーダーが発表し、松尾 座長から、「実施難易度に応じた行動項目の分類や、タイムラインに基づく訓練を実施する必要がある。」など補足の説明がありました。



ワークショップの様子



グループリーダーによる成果発表

## アドバイザーによる講評

検討会のアドバイザーであるNPO法人環境防災研究機構北海道黒木 専務理事と、元旭川地方気象台長の志田 気象予報士による検討会全体の講評では、「検討会で想定する洪水は現実に起こりうる規模である。その点を十分に認識すべき。」との助言があり、最後に滝川市の尾崎防災危機対策室長の挨拶で閉会となりました。



黒木 専務理事  
による講評



志田 気象予報士  
による講評



尾崎 防災危機対策室長  
による挨拶